



一期一会

- 4 -

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>

修学旅行に行ってきました

6月30日から2泊3日の修学旅行に行ってきました。まん延防止重点措置が出ている中ですので、感染予防として次のような対策をいたしました。

- ・ 行き先を和歌山に変更し、バスでの移動時間を短くした
- ・ 宿泊施設をホテルに変更し、2人または3人で1部屋を使用。
- ・ ホテルの部屋内にあるお風呂も使用可に。
- ・ 食事の際は皆同じ方向を向き黙食。
- ・ 毎朝の検温をはじめ健康チェックを徹底

出発式では、校長から前日の新規感染者数は全国で1381人、大阪でも100人を超えていることを話し注意喚起をするとともに、学年の先生からも部屋の中でも眠る直前まではマスクを着用しておくようにと話しました。41期生の皆さんは、旅行の間じゅうよく協力してくれていたと思います。



行きのバス内では、1時間を超える超大作のバスレクビデオが上映されました。ニュース、クイズ、ドラマ、ダンス、歌、お笑い等盛りだくさんでバス内はたくさんの笑いに包まれました。みんなが修学旅行を楽しめるように文化委員の人たちが一生懸命に作ってくれているのがとても伝わって来ました。N先生の編集のクオリティも大変高く驚きました。



海南市のわんぱく公園で昼食をとり、芝滑りをし、しばらく遊んだ後、稲むら火の館を訪れました。この村では、江戸時代に大地震があったときに、濱口梧陵という人が積み上げた稲の束に火をつけて、それを目印にたくさんの人が高台に避難し津波から助かりました。その後濱口梧陵は、家を失った村の人々が働いて堤防を作り賃金を得ることで生活を立て直すことができるようにもしたそうです。当時に築かれた堤防は今も残っており、まさにその場所で語り部の方からその歴史をお聞きしました。また展示館見学では今後の地震への備えなど防災についてしっかりと学びました。

1日目の夜には、クラ代企画の学年レクが大広間で盛大に開催されました。各クラスからの出し物は、クラスによって劇やコント、歌、ダンスといった内容でどれも工夫されていました。息の合った演技を発表するために何度も練習し、その中でクラスの団結も深まっていったのではないで



しょうか。その後はクラ代企画のコーナーがあり、気配斬りや絵しりとりなど楽しいゲームで盛り上がりました。各クラスの発表を見ているみんながとても温かい雰囲気です。ゲームにノリノリで参加していたりしている様子を見て、41期生のみなさんの雰囲気の良さに感心しました。先生たちからのサプライズもみんなとても喜んでくれて嬉しかったです。



2日目です。夜に降り出した雨が止まず、午前中のカヌーや釣りなどの選択プログラムは実施することができませんでした。そのため事前に選んでいた「ほんまもん体験」のモノづくりのコース（魚さばき、風鈴、竹細工、こんにやく、いも餅、梅ジャム、梅ジュース）から午前、午後にとひとつずつ体験をすることになりました。地元の方が丁寧に作り方を教えてくださり、多くの方がお土産としてできた物を持ち帰ったことと思います。雨プログラムになったことは残念であったと思いますが、不平不満を言う人もなく、皆一生懸命に取り組んでいたのがイヤな雰囲気になることはありませんでした。ここでも41期生の素直さや前向きな姿勢が発揮されていました。

夜にはクラスレクの時間があり和気あいあいと楽しんでいました。

3日目になっても昨日からの雨は降りやまず朝から大雨警報（土砂災害）が発令されました。この日は白浜アドベンチャーワールドですので、警報が出ていたとしても安全は確保できると判断し予定通りに訪れました。駐車場から園内に入場するところには奇跡的に雨がやんでおり、クラス写真を撮ることができました。きっとみんなの日頃の行いが良いからでしょう。写真を撮った後はまた土砂降りになりましたが、園内の主な場所には屋根付きの通路が張り巡らされており、移動時に傘を差さなくてもあまり不自由はないような感じてました。41期生の皆さんは班ごとにそれぞれ園内を見学していましたが、最後の全体集合の際にはどの班も遅れることなく、一人の行方不明者を出すこともなく時間通りに全員集合しました。さすが十五中生！

天候にはあまり恵まれなかった3日間ですが、活動の中で41期生の良い点がたくさん見られました。寝食を共にする中で培ったお互いのつながりを今後の生活にも生かしてくれればと思います。